



ニュースリリース 平成 25年 1月 31日

市税等の「公金収納情報データ化サービス」の開始について

常陽銀行(頭取 寺門 一義)は、このたび、地方公共団体における公金収納事務の効率化を支援するため、新たに茨城県古河市に対して、市税等の「公金収納情報データ化サービス」を開始しますので、下記のとおりお知らせいたします。

本サービスは、金融機関等の窓口で収納された納付済通知書等を電子データ化し提供するもので、納付状況などについてスピーディな検索が可能となります。

当行は、今後とも、地域金融機関として地方公共団体と連携を図るとともに、質の高いサービスの提供に努めてまいります。

記

1. 取り扱い開始日

2月1日(金)

2. 新たに対象となる地方公共団体

古河市

3. サービスの概要

○納付済通知書の電子データ化(OCR読取り処理・データ入力処理)および消込み用データ*の作成

※地方公共団体にて市税等の請求データと納付済データの突合に使用するもの。

○納付済通知書のイメージ(画像)データおよび検索システムの提供

○納付者が納付した日付(納付日)の明細データへのセット

4. 取り扱い費目

固定資産税、市・県民税、国民健康保険税、軽自動車税、介護保険料、後期高齢者医療保険料、集合主税、給食費

以上